

平成 26 年 4 月 7 日

JST 社会技術研究開発センター

公募型研究開発プログラムの進捗状況等について

1. プロジェクトの推進、マネジメント

総括、アドバイザー等マネジメントグループによるプログラム会議（平成 26 年 1 月 20 日、第 19 回）を開催し、プロジェクトの進捗状況の共有およびプログラムとしての取り組みについて議論を行った。また、プログラム全体として情報を発信・共有し、今後の取り組みについて広く議論することを目的に以下の企画を実施した。

① プログラムサロン（平成 26 年 1 月 22 日）

政策担当者や研究者と情報や問題意識を共有し、現実の政策形成に活用できるプロジェクトにするための議論を深めることを目的とした「プログラムサロン」を継続して開催している。第 5 回は『科学技術イノベーション政策のための科学として、「経済学」に何を期待できるのか?』と題して開催した。SciREX 関係機関も含め約 40 名の参加を得て、マクロ経済学とミクロ経済学がどう活かせるのかについて議論を行った。

② プログラム全体会議（平成 26 年 3 月 1・2 日 府中）

関係者間の意識共有やプロジェクト同士の交流により、ネットワーク形成およびそれぞれの研究の向上を目的として年 1 回開催している。3 回目となる今年度は、プロジェクト実施者、アドバイザーおよび SciREX 関係機関など約 80 名の参加を得て開催した。本プログラムと SciREX の状況・進捗について共有した後、各プロジェクトから発表と意見交換、プログラムの今後の方向性などについての議論を行った。

今後も上記の企画を継続して議論を深めていくとともに、本プログラムの活動を効果的に発信し、ネットワークの拡大やコミュニティの新規開拓につなげるべく、新たな企画を検討している。

2. 新規研究開発プロジェクト（第 4 回）の公募

これまでの採択結果や他の取り組みの進展も踏まえ、下記のスケジュールで新規プロジェクトの募集・選考を実施する予定である。現在、募集の概要をプレアナウンス中である（別紙）。

- 公募期間 : 4 月 25 日（金）～5 月 28 日（水）
- 募集説明会（東京） : 5 月 8 日（木）
- 選考・採択 : 6～9 月初旬に総括、アドバイザーによる査読および面接選考を実施。
9 月中に採択課題を決定し、10 月より研究開発を開始。

3. その他

① 評価について

「文部科学省における研究及び開発に関する評価指針」（平成 26 年 4 月 2 日改定）および RISTEX 全体の方針を踏まえ、質の高い「自己評価」及びそれをベースにした合理化・簡略化された第三者評価へと改善することを目的として、プロジェクトの事後評価方法を見直すこととした（11 月終了予定の初年度採択プロジェクトから適用）。

② 第二期公募について

本プログラムで当初予定したプロジェクト公募（4 回）が終了することから、SciREX 全体の再構成を踏まえつつ、第二期公募の実施について検討する必要がある。

以上

「科学技術イノベーション政策のための科学」平成26年度公募 (プレアナウンス)

(独)科学技術振興機構 社会技術研究開発センター(RISTEX)

平成23年度にスタートとした「科学技術イノベーション政策のための科学 研究開発プログラム」は、現代社会における様々な問題の解決に貢献し得る科学技術イノベーションをもたらす政策の選択肢を、「客観的根拠(エビデンス)」に基づき、科学的方法によって策定するための体系的知見を創出することを目的としています。(プログラムの目的・内容は、<http://www.ristex.jp/stipolicy/> をご覧ください)

平成26年度の公募は、4月25日より開始し、昨年度と同様に2段階選考を行う予定です。

スケジュール(予定)

募集期間 (コンセプト提案)	4月25日(金)～5月28日(水)正午	4ページ程度の様式により応募
募集説明会	5月8日(木)	JST東京別館(市ヶ谷)、時間未定 後日、動画配信を予定
一次選考 (書類)	6月	結果通知と併せて通過者に詳細な 提案書の作成を依頼(7月中)
二次選考 (書類・面接)	書類選考:8月 面接選考:8月下旬～9月上旬	一次選考通過者が多い場合には、 書類選考で絞り込みを実施
研究開発開始	10月1日	面接選考後、総括との面談などを経 て計画策定

スケジュールはやむを得ず変更となる場合があります。最新情報についても上記URL等で確認してください。

募集・選考方法(2段階選考)

一次選考:

簡単なコンセプトを提出していただき、プログラム目的に合うものを、二次選考の対象とします。

【注目要素】

創出しようとする成果が最終的に「誰に」「何を」与えるのかが明確か

二次選考:

一次選考通過提案に対し、詳細な提案書を提出していただき、書類選考と面接選考を実施して、採択プロジェクトを決定します。

【注目要素】

- 成果を政策形成プロセスに実装・定着させるためのアプローチの有無
- 現実的な研究実施計画
- 研究に対する適切な実施体制

★募集開始日(4月25日予定)に、詳細な募集要項を公開します。

<http://www.ristex.jp/examin/suggestion.html>

【本件に関するお問い合わせ先】

RISTEX「科学技術イノベーション政策のための科学 研究開発プログラム」事務局 E-MAIL: stipolicy@ristex.jp

(参考)RISTEX「科学技術イノベーション政策のための科学 研究開発プログラム」プロジェクト

	研究開発プロジェクト	代表者	所属
平成23年度採択	電力分野のイノベーションと研究開発ネットワークに係わる評価手法の開発	秋山 太郎	横浜国立大学 成長戦略研究センター 教授
	ファンディングプログラムの運営に資する科学計量学	調 麻佐志	東京工業大学 大学院理工学研究科 准教授
	科学技術への社会的期待の可視化・定量化手法の開発	玉村 雅敏	慶應義塾大学 総合政策学部 准教授
	イノベーションの科学的源泉とその経済効果の研究	長岡 貞男	一橋大学 イノベーション研究センター 教授
	共同事実確認手法を活用した政策形成過程の検討と実装	松浦 正浩	東京大学 公共政策大学院 特任准教授
	未来産業創造にむかうイノベーション戦略の研究	山口 栄一	京都大学 大学院総合生存学館 教授
平成24年度採択	STIに向けた政策プロセスへの関心層別関与フレーム設計	加納 圭	滋賀大学 教育学部/京都大学物質-細胞統合システム拠点(iCeMS) 准教授/特任講師
	地域科学技術政策を支援する事例ベース推論システムの開発	永田 晃也	九州大学 科学技術イノベーション政策教育研究センター/経済学研究院 センター長/教授
	科学技術イノベーション政策の経済成長分析・評価	楡井 誠	一橋大学 イノベーション研究センター 准教授
	リソースロジスティクスの可視化に立脚したイノベーション戦略策定支援	松八重 一代	東北大学 大学院工学研究科 准教授
	イノベーション政策に資する公共財としての水資源保全とエネルギー利用に関する研究	天野 良彦	信州大学 地域共同研究センター センター長・教授
平成25年度採択	科学技術イノベーション政策と補完的な政策・制度整備の政策提言	青木 玲子	一橋大学 経済研究所 教授
	環境政策に対する衛星観測の効果の定量的・客観的評価手法の検討	笠井 康子	独立行政法人情報通信研究機構 電磁波計測研究所センシング基盤研究室 客員研究員
	イノベーション実現のための情報工学を用いたアクションリサーチ	梶川 裕矢	東京工業大学 大学院イノベーションマネジメント研究科 准教授
	先端医療を対象とした規制・技術標準整備のための政策シミュレーション	加納 信吾	東京大学 大学院新領域創成科学研究科 准教授
	市民生活・社会活動の安全確保政策のためのレジリエンス分析	古田 一雄	東京大学 大学院工学系研究科 レジリエンス工学研究センター センター長・教授

(参考) RISTEX「科学技術イノベーション政策のための科学 研究開発プログラム」
採択プロジェクトの概要

FY 2011
FY 2012
FY 2013

